

令和2年度第1回大阪府立少年自然の家指定管理者評価委員会会議概要

- 日 時：令和2年9月9日（水） 10：30～11：30
- 場 所：大阪府新別館南館 8階大研修室
- 委員出席：5名（岡田委員長、植木委員、西川委員、松本委員、小山委員）

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事（質疑要旨）

府立少年自然の家の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策及び現在の施設運営状況について

◆事務局から、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策及び現在の施設運営状況について報告
＜質疑応答＞

委員：施設の運営状況については、新型コロナウイルスの中、大阪府の他の指定管理施設も同じような状況か。

事務局：すべての施設を確認しているわけではないが、同じような状況であり、委託料を前倒しするなどの措置をとっていると聞いている。また、要請した休館中の利用料金等を府が補填している。自然の家もそうだが、貸館しているところも同じような状況になっており、利用者が来てくれたとしても、従来の定員数でお貸しすることができない中で、営業している。学校などの団体利用者も感染を心配されて中止したという話を伺っている。また、授業時数が少なくなっていることから、校外学習に時間をとれないという状況もある。このままの状況では、指定管理者の体力がなくなってしまうので、何等かの手立てを打たねばならないと考えているが、民間事業者ともバランスもある中、なかなか難しい状況で悩んでいる。

委員：食事をする時に話すことが一番感染が広がる可能性があると思うので、距離をあけたり、一人ずつをボードで区切ったりすることが必要だが、自然の家では、なかなか難しい状況か。

事務局：せっかく子どもたちが来ても、会話をしないように注意をして、窮屈に過ごしてもらうというのは、いい体験にならないので難しいが、食堂は円卓のテーブルの座る人数を減らし、距離をとり、多少話しても料理に唾が飛ばない距離を確保しながら、運営をしてもらっている。

委員：管理部門の総支出額が昨年度と比べると半分ぐらいに減っているのはどういった理由か。

事務局：光熱水費や食材などの原材料費が減っていると聞いている。

委員：大阪府、大阪市が主体となって、屋外施設でのマスク着用の基準について、もう少し緩めるようなガイドラインを出してもよいのではないか。

委員：厚労省は2m離れていればマスクがいらないという基準を出している。

事務局：学校現場でも屋外のマスク着用は不要とし、熱中症など身体に危険が生じないようにしており、そういった基準を流用しながら、対応していきたいと考えている。

委員：実際、学校では熱中症対策で、登下校時など2m離れていれば、マスク着用は不要と指導しているが、子どもたちは、周りの目を気にして、なかなかマスクを外さないという現状がある。

事務局：新型コロナウイルスとどう付き合いながら、感染を防止するか、利用者にご理解いた

だけのような注意喚起をしていき、特に屋外の活動については、指定管理者と相談し、工夫をしていきたいと考えている。

委員：野外のバーベキュー場は、これから需要が増えるのではないかと。

事務局：自然の家のバーベキュー場についても、家族などの利用者が増えてきており、一時期に比べると利用人数が増加していると聞いている。ただ多人数の団体利用が少ないので、利用人数や収益が大きく落ち込んでいる。

委員：学校だけではなく、野外活動を行っている団体などに営業していけば、利用者数も少しは回復すると思う。

事務局：収入のことだけを考えると宿泊客を増加させることが、経営を円滑に行うことにつながると考えている。インバウンドの利用者の期待はできないので、近隣の学校や小規模の団体も含めて、地道に営業を進めていきたいと考えている。

委員：今年度の修学旅行などの宿泊行事は市町村レベルで、すべての学校が中止にしている市町村がたくさんあると聞いている。授業数の確保のこともあり、かなり難しい状況にある。ただ、修学旅行の代替えとして、考えている行事はあるかもしれない。教員は、やはり子どもたちに修学旅行に替わる行事をしてあげたいという思いがあり、ある程度、新型コロナウイルスが収束した状態で、日帰りで、もしくは1泊の行事を再考する学校はあると思う。

事務局：そういった学校に対しても、公立私立問わず、あとは専門学校にも、営業をしていきたいと考えている。

令和2年度大阪府立少年自然の家指定管理運営業務の評価票について

◆事務局から、令和2年度指定管理業務評価票及び

令和元年度モニタリング評価実施による改善のための対応方針等について説明

<質疑応答>

委員：ただいま、事務局から説明があったとおり、新型コロナウイルスの影響はあるが、まずは影響を考慮せずに、従来通りの数値を設定し、第2回会議の時に、新型コロナウイルスの影響を勘案して、評価するという提案だが、いかがか。

委員：新型コロナウイルスの収束予測、年間での利用者数の予測はしているか。

事務局：このままでは収入が昨年度の半分にもいかない可能性があるのではないかと考える。そういった意味で評価票をどうするかというのは、大変難しいところではあるが、府の他の施設も同様に、状況を見極めて判断していくと聞いている。最初の設定時点で、今年の評価が難しいと結論を出してしまうのではなく、V字回復する可能性がゼロではないことから、いったん従来どおり目標値を設定した上で、最終的に新型コロナウイルスの影響がどうあったのかを、評価票に反映できればと考えている。

委員：企業は、株主に対して年間の目標値を出さないといけない。ただ今年はアミューズメントや旅行の業種は目標値を出せないということが多く、出したとしても希望値を出して修正で対応するというのを多くの企業がやっているから、指標の継続性からすると、前年と同じように目標値を出すというのが、適切かと思う。また、検証のところ勘案するというのも適切かと思う。定量的のところはそれで見るとは思うが、定性の部分では、例えばバーベキューガーデンの整備と利用促進の項目で、定量的数字は落ちているが、利用促進をどうしたかということのを定性的に評価できる。広報に

しても、ほぼできない中で、何をやったのかということをしちゃんと評価すればいいと思う。もう一点、Ⅱのさらなるサービスの向上に関する事項の(3)その他創意工夫のところは、サービスの向上だけではなくて、不測の事態への対応ということで考えると、ここの評価は上がるのではないかと思う。どうしても我々は数字だけで見てしまいが、創意工夫のところでは不測の事態への対応をどうしたかということ今年度に関しては評価することが必要だと思う。

事務局：指定管理者自身がとても努力し、今も対応しているところなので、しっかりアピールしてもらい、事務局もきちんと評価したいと考えている。また、危機管理がしっかりしている施設だということ、府民に知ってもらうことで、安心して利用していただき、中長期的な経営面での安定性にもつながると考える。

委員：創意工夫というと攻めの経営イメージだが、しっかりと守っている、対策をしているということを指定管理者も、評価者も明示しておいた方がいいと思う。

委員：6月初旬に、自然の家を利用させてもらった時には、紙のマスクが出回っていなかった時期だったが、自然の家ではキッチンペーパーで作ったマスクを用意しており、感染症対策の工夫をされていた。

委員：そういった工夫をSNSでどんどんアップしていった方がいいと思う。また学校にもアピールして、学校から保護者にも伝えることが必要と考える。

事務局：前回会議で委員からご提案いただいたように、Instagramでアップしているが、さらに情報発信を強化することが必要と考える。

委員：これからはwith コロナでどう工夫して、目的を達成していくかということを考えていけないといけない。例えば集団生活の中で、「個を育てる」という目的で事業をする。みんなで一緒に寝るのではなく、個の自立を育てるなどの作戦をとって、これまでの既成概念をやぶらないといけない。そういった中から、新しいものが生まれてくると思う。

事務局：集団生活の中で、「個を育てる」という視点は、とても共感できるので、検討していければと思う。

委員：個室で一人で、しゃべるなどというのは、子どもにはすごく苦痛で、やはりそういう体験も必要だろうと思う。個を育てるというのは、今の状況にあっていると思う。

委員：個で何かを体験することで、改めて集団の大切さというのを再認識することにもなると思う。

委員：一人キャンプは、プライバシーの観点でもいいと思う。避難所では、プライバシーの問題というのが出てくるので、防災の観点でもそういったことを練習するとか、今部屋の中に、テントを張ることや、山で一人でテントを張るということも流行っている。

事務局：防災についても、自然の家の強みを生かして、工夫しているところを評価できればと考えている。

委員：コストがどれぐらいかかるかにもよるが、学校を通じて、自然の家の宣伝を子どもや保護者にする方法も面白いかなと思う。

委員：郵送だとコストが高いので、例えばYouTubeで配信すると子どもたちはYouTubeを見ているので有効だと思う。YouTubeは芸能人とかもキャンプをしている様子を配信している。そういったことを府がやるのもなかなか面白いかもしれない。学校であれば、保護者にそれを見てくださいと言える。

委員：これから子どもたちは、タブレットを一人一台持つので、情報提供さえすれば見ると

思う。

事務局：そういった情報提供の方法についても、指定管理者と検討する。

委員：評価票については、ここに足し加えるということはないが、評価については、新型コロナウイルスの影響も勘案して、次回会議の際には指定管理者自己評価、施設所管課の評価で、コロナ対策等のことも評価するというところでよろしいか。

委員：【異議なし】

4 閉会